

Bluff Archives Monthly News

2020年3月

発行 NPO 法人横浜山手アーカイブス

2019年度ブラフアーカイブス活動報告

横浜山手アーカイブスが NPO として発足して 2 年が経ちました。2019 年度の活動を振り返ってみたいと思います。

<ホームページによる情報提供>

今年度もいくつかの番地の情報をホームページに追加しました。また、ホームページに英訳を併記しました。

BLUFF Archives の基となる、山手の番地と住民とを年代毎に整理したデータベースは、1870 年から 1942 年のブラフディレクトリを情報源にしていますが、2019 年度は、さらに山手周辺に暮らしていた外国人の方たちの名前もディレクトリから抽出する作業に取り組みました。また外国人墓地に墓碑がある人物との確認作業も進めており、少しずつですが、データベースが充実しています。データベースについての情報提供は、お問合せメールで受け付けています。

<月 1 回の相談会>

みなさまからの様々なお問い合わせに直接対応させていただく機会として、基本的に毎月第 3 日曜日の午後、山手 234 番館にて NPO メンバーが対応しています。問い合わせメールでは対応しきれない案件などは、ここで直接お話しを伺っています。これに限らず、まちのご案内や資料のご紹介などは、随時対応しています。今年は通りすがりの来館者にも、地域の歴史に興味をもってもらえるよう、会場に過去の展示パネルなどを再展示して、一工夫する予定です。

<BLUFF STORY、BLUFF STORY2 の英語訳>

2018、2019 年度に開催した企画展示の小冊子「山手歴史散歩 BLUFF STORY」の英訳をホームページに掲載しました。小冊子購入の際、必要な方には英訳サイトに直接アクセスできる QR コードを貼ってお渡します。外国の方にも、地域の歴史をご紹介できる小冊子となりました。

小冊子は山手 234 番館や山手資料館にて、1 冊 500 円で販売しています。(今後 HP でも販売予定です)

<歴史資料パネル展示の開催>

7 月と 2 月に山手 234 番館にて「明治末期から大正期の華やかな居留外国人の生活から関東大震災そして復興へ」と題し、新関光二コレクションを中心とした歴史資料のパネル展示を開催しました。

<山手西洋館との協働>

1. 山手芸術祭期間中の 2 月 21 日「明治・山手の丘に流れるメロディ」と題し、横浜市史資料室の平野正裕氏を講師に迎え「第 1 部讃美歌から愛唱歌へ」「第 2 部はたらく者たちとその唄」の構成で、明治期の山手を音源とコーラスを交えて解説しました。コーラスは、フェリス女学院 OG コーラス「杏の実」にお願いしました。

2. 2019 年春に、オーストラリア在住で山手 111 番館旧居住者から 1950 年代当時の彩色アルバムが横浜市に寄贈されました。NPO ではそのアルバムの複製を作成し、111 番館で公開しています。

<元町公園震災前遺構の現地保存にむけて>

昨年 2 度の大きな台風で、元町公園の倒木の根元から、震災前のもと思われる煉瓦の建物基礎遺構が現れました。急遽、埋蔵物の専門家に連絡し、休日を返上して絡まった根や土を取り除き、埋まっていた煉瓦や瓦、土管などの遺構を採取、その情報を博物館に繋ぎました。遺構は発見



現場から動かさず、そのまま公園内に設置されるところです。

現在の遺構の様子